



芦安中学校だより

第 8 号

校長 丹澤 博

2020. 12. 18

中国武漢市での「原因不明の肺炎症状」が報じられたのが昨年(2020年)の12月でした。この1年はまさに新型コロナウイルスへの対応に明け暮れたように思います。日常の大きな変化から、私たちは「当たり前の日常」がいかに大切であったのかに気づかされたように思います。学校での様々な行事や取り組みについても、例年通りと考えがちであったところが、実施して良いのか、どうすれば実施できるのか、何を大切にすべきかを常に考えるようになりました。そして、この1年は、健康的な生活の大切さ、お互いを思いやる心について深く学ぶ機会となったのではないかと考えています。

「わかんじづくり」に取り組んで

前回、3年生が芦安ファンクラブ様のご支援をいただく中で、卒業記念として「わかんじづくり」に取り組んでいることを紹介しました。11月30日(月)5校時及び放課後を使って完成させることができました。今年度は、工程の多くを芦安ファンクラブ様に支援していただきました。芦安地区の先人が編み出した「わかんじづくり」の素晴らしさを実感することができました。3年生の多くは、卒業後、自分の部屋に飾るのではないかと思います。実際に雪山で使ってみて、先人の知恵を体験するのも良いのではと考えました。



令和3年度芦安中学校生徒会本部役員

12月4日(金)に行われた令和3年度生徒会役員選挙の結果、生徒会長に名取さん、副会長に金田(兄)くんが、また、生徒会長の指名で金田(弟)くんが議長に選ばれました。今年度の生徒会本部役員は会長の倉園さんを中心に前例が通用しない中で、工夫して白峰祭を創るなど、本当に素晴らしい活動ぶりであったと思います。新役員も令和2年度生徒会本部役員に追いつき追い越せて頑張ってください。



授業中の服装について

現在、授業は体育着または制服で、テストは制服で受けています。これまでも廊下など授業以外(教室外)は生徒の判断で上着を着用していました。今年度は例年以上に換気を行っているため、これからの時期、暖房をつけていても寒さを感じる生徒が出てくるのが予想されます。12月14日(月)からは授業中(教室内)も、自分の判断で、派手でない部屋着を着て良いこととしています。期間は概ね3月上旬までと考えています。更に、極寒期は防寒着(外着)を着て授業という日も出てくると考えています。教室環境は日頃からチェックしていますが、連絡前に、生徒の皆さんが教室内での防寒着(外着)着用の必要性を感じたら、学級担任他に伝えてください。

小中一貫校ならではの取組

芦安中の教員が芦安小に出向き、乗り入れ授業を実施しています。安田教諭による小1・2の音楽、小5・6の音楽、長澤教諭の小3・4の国語、花形教諭の小4理科は、すでに実施しました。中学校教諭の視点を取り入れた授業、小中合同で授業改善に取り組んでいます。



「英語スピーチ」に1年生が挑戦しました。

12月9日(水)1年生が「英語スピーチ」に挑戦しました。1年生はまだ習った文型や語彙が少なく、英文づくりが難しかったのではないかと思います。そんな中でも一生懸命取り組んでいて素晴らしいと思いました。生徒の感想を載せましたが、何かやった後に、「振り返り」を行うことは非常に大切だと改めて感じました。これからどんなことに力を入れていくのかを、一人一人がしっかり捉えていると思います。3学期には1年生だけで小学生向けに英語絵本読み聞かせを行います。期待しています。



金田くん

僕は先輩たちのようにやろうと英文づくりに取り組みました。ですが、日本語ですぐに言うことを決めたけれど、英文で相手に伝わるようにすることが難しかったです。当日は原稿を覚えきれなかったの下を見ているほうが長かったと思うので、もっと覚えておきたかったです。スピーチが終わった後のウィリアム先生との会話は聞き取れたし、うまく反応できたと思う。次までにはもっと頑張って勉強して、自分の力で英文がつかれるようにしたいです。

和田さん

英語のスピーチの内容は(ウィリアム先生がうなずいてくださったので)伝わったかなと思います。でも、読みの練習が不足していたので、しどろもどろになったところがあったと思います。だから、英文を考えたら、音読し、録音して聞いてみるなどの工夫が必要だと思いました。あと、今回の英文は英語が得意な知り合いの方・母・私の3人で考えたものだから、知らないフレーズが入っていたり、普段使っている単語を別の意味で使ったりと、どういう意味・使い方なのかわからないところがありました。だから、これから復習しようと考えています。

南アルプス発日本を元気にするあの人

南アルプス市広報12月号に、芦安保育所→芦安小学校→芦安中学校→東海大学付属甲府高等学校→東海大学芸術学科と進学され、現在デザイナー兼VRクリエイターとして活躍されている清水祐輔さんが紹介されていました。中学校時代の教頭先生が東海大学付属甲府高校への進学についてアドバイスしてくれたこと・小学校4年生の担任の先生が河野先生(今の中学2年生が小学校6年生の時の教頭先生ですね。)で影響を受けたことなどが紹介されていました。皆さんにとって中学校の先輩になるわけですが、1月号でも紹介されると思います。是非、読んで欲しいと思います。



←清水祐輔さんが手がけた南アルプスユネスコエコパークロゴマークです。了解を得て、添付しました。本校もユネスコスクールとして、自然体験活動を中心に環境問題にも取り組んでいます。先輩の更なる活躍をご期待するとともに、いつの日か皆さんと先輩が何かの形でつながるといいな、と思いながら紹介させていただきました。今、世界中でSDGsの取り組みが始まっています。芦安生もエコスクールの一員として、環境問題に興味をもって生活していくことを期待しています。

新型コロナウイルス感染症対策について

感染症対策にご理解とご協力いただき、心より感謝申し上げます。今後、生徒自身や同居するご家族がPCR検査を受けるようになった(ならないことを祈るばかりですが)時は、土・日・祝・冬季休業中であっても、担任→主任→緊急携帯電話(申し訳ありません。生徒配布以外には掲載できません。)にご連絡ください。(→は、つながらなかったらという意味です。)緊急携帯電話番号はご家庭用の学校だよりには載せてありますが、HP上・地域へ配布する学校だよりには載せてありません。保護者の皆様の中で管理していただけますと幸いです。よろしく願いいたします。

新年を迎えるにあたって

今、自分自身の将来に向けて、一生懸命に学習に取り組んでいる3年生。自分の適性をしっかりと見極め、悔いのない進路を決定し、この芦安中学校を卒業して欲しいと思います。寒い冬の後には希望に満ちた春が待っています。強い決意で力強く勉強や自分の目標に向けて励んでください。下級生もその姿をしっかりと眼と心に焼き付けてください。芦安中学校生徒としての自信と誇りを引き継いでくれることを期待しています。

新しい年を迎えるにあたり、引き続き生徒の安全を最優先する中でも工夫し、小規模校ならではの教育活動を模索してまいりたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様方も健康に留意され、良いお年をお迎えください。